

ソフトウェア開発 EOL対応サービス

HITACHI
Inspire the Next

- ハードウェア変更、脆弱性対応、サポート終了に伴うソフトウェアの更新をサポートします -



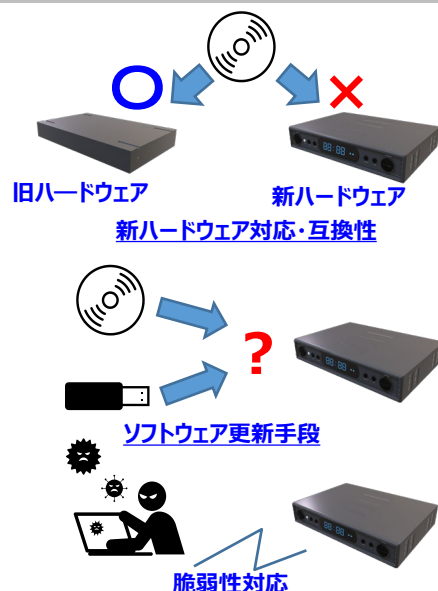
製品搭載ソフトウェアのEOL

長期に渡り生産を継続した製品では、提供期間内の部品のEOL、入手難による置換や代替部品への置換などが行われています。しかし、代替部品への交換に伴い製品に搭載する組み込みソフトウェアの影響にも考慮が必要です。また、組み込みソフトウェアは脆弱性の対応、サポート終了時の対応が必要です。

- ✓ 部品のメーカーや型番が変わり、同じソフトウェアが動作しない
- ✓ 変更した部品に対応したソフトウェアがないため動作しない
- ✓ 新旧ハードウェアに対応しソフトウェアの互換性を保つ必要がある
- ✓ ソフトウェア更新の仕組みを考える必要がある
- ✓ 搭載ソフトウェアの一部に脆弱性が見つかり更新が必要になった
- ✓ 搭載ソフトウェアの一部がサポート終了となり載せ替えが必要となった

ハードウェア変更に伴うソフトウェア更新、脆弱性のパッチを適用したら互換性が無く正常動作しないという話をよく伺います。

日立グループで長年培った確かな技術と多くの経験を持つ当社にお任せください。

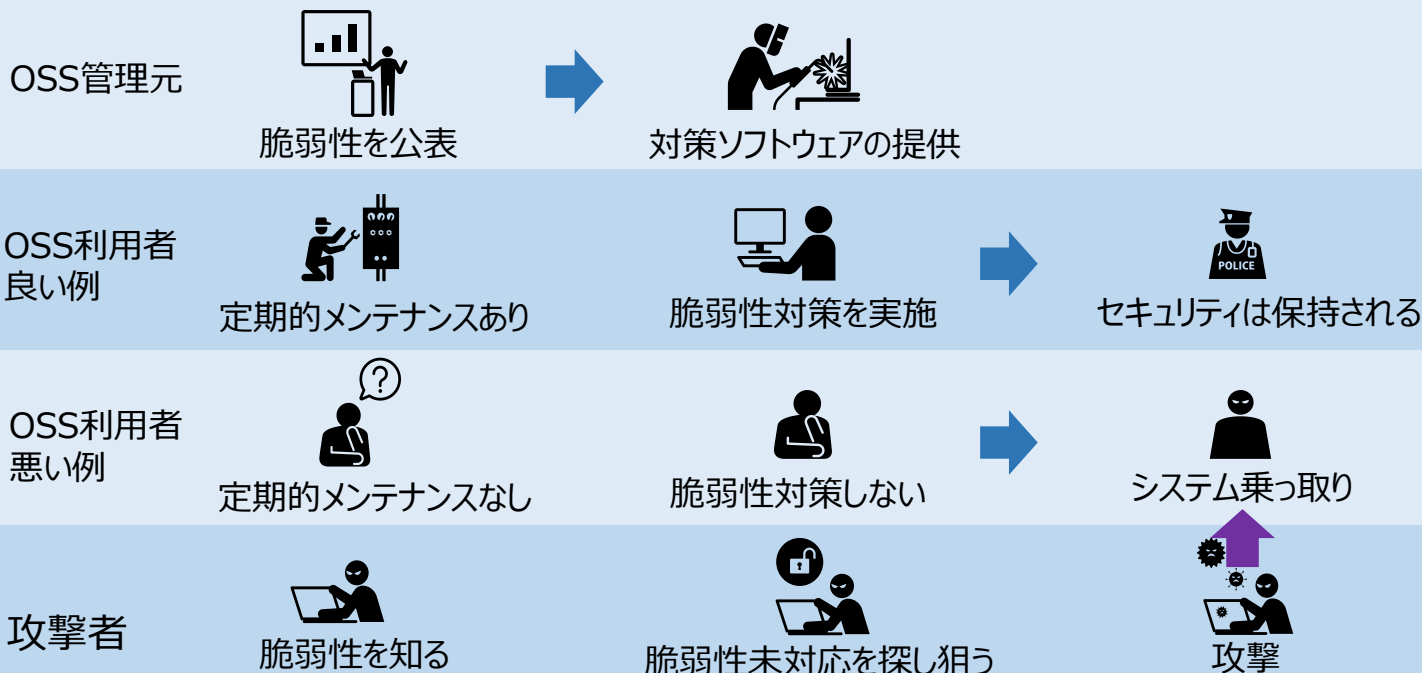


EOL対応サービス（ソフトウェア）

IoT時代のソフトウェアはOSS脆弱性のリスクがあります。EOL対応サービス(ソフトウェア)でOSS脆弱性のリスク対策を支援します。

【OSS脆弱性のリスク】

ソフトウェアの脆弱性を放置すると、ネットワークやリムーバブルメディアなどを経由し、悪意のある攻撃者によりシステムの乗っ取りや破壊、情報漏えいのリスクにさらされる危険性があります。

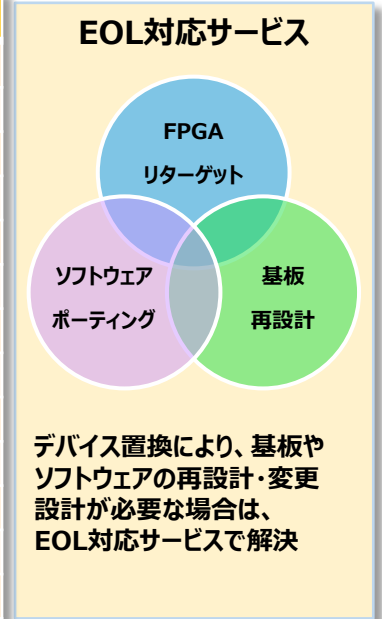




EOL対応サービスによりソフトウェア更新に対応します！

ハードウェアの変更に伴うソフトウェア対応、脆弱性、サポート終了に伴うソフトウェア更新に関するお悩みをヒアリングさせていただき、お客さまにとって最適な解決策をご提案いたします。多くのお客さまへの豊富な対応実績があります。まずは当社にご相談ください。

EOL対応サービス(ソフトウェア)		サービス内容
メインサービス	ハードウェア変更対応	新規ハードウェアに対応したソフトウェアの対応
	脆弱性対応	ソフトウェア脆弱性の対応(パッチ適用)
	サポート終了ソフトウェア更新	サポート終了ソフトウェアの載せ替え対応
オプションサービス	互換性維持	新旧ハードウェアとの互換性のあるソフトウェアの検討、実装
	ソフトウェア更新方式	ソフトウェア更新方式の検討、実装
	新ハード対応ソフトウェア調査	新規ハードウェアに最適なソフトウェアの調査
	脆弱性調査	脆弱性調査(脆弱性の有無、対応方法)
	EOL調査	搭載ソフトウェアのEOL調査(期限、サポート終了時の対応策)
	ドキュメント作成	ソフトウェアドキュメントの内容を見直し・再執筆(加筆)など
	リバース	搭載ソフトウェアからの仕様書作成(リバースエンジニアリング)
	影響調査	更新ソフトウェア適用時の影響範囲調査
	再評価	更新ソフトウェア適用時の実機評価
	再生成	仕様書からのソフトウェア再生成など
	マイグレーション	後継製品開発時の既存製品との機能互換検討、開発



EOL対応サービス (ソフトウェア) 事例のご紹介

EOL対応サービス(ソフトウェア)実績

No.	置換分類	適用/機能	作業内容	旧システム	新システム	備考
1	ハードウェア変更	セキュリティ端末	CPU切り替え	SH4	ARM Coretex-A9	<ul style="list-style-type: none"> •wrapper(ライブラリ)作成 •ドライバ作成、アプリケーション、ポータリング、コード解析 •機能評価、性能評価、リグレーション対応 •ドキュメント作業
			OS載せ替え	VxWorks	Linux	
2	OS変更	通信機器	CPU切り替え	NXP PowerPC	ARM Coretex-A9	<ul style="list-style-type: none"> •エンディアン変換 •wrapper(ライブラリ)作成 •ドライバ作成、アプリケーション、ポータリング、コード解析 •機能評価、性能評価、リグレーション対応 •ドキュメント作業(機能設計書、変更設計書)
			OS載せ替え	Net-BSD	Linux	
3	ハードウェア変更	情報端末	CPU切り替え	ARM Cortex-M4F	ARM Cortex-M23	<ul style="list-style-type: none"> •ドライバ作成、アプリケーション、ポータリング、コード解析 •機能評価、性能評価、リグレーション対応 •ドキュメント作業
			OS更新	TI-RTOS	Free RTOS	
4	OS更新	IoT機器	OS更新	Linux Kernel 4.x	Linux Kernel 5.x	<ul style="list-style-type: none"> •ソフトウェアアップデート機能開発(SD/USB) •ドライバ調整 •機能評価、性能評価、リグレーション対応 •ドキュメント作業(変更設計書)
5	OSS更新	通信機器	OSS更新	OpenSSL 0.9.x	Open SSL 1.0.x	<ul style="list-style-type: none"> •OSSポータリング作業(関連APポータリング) •アプリケーション調整 •機能評価、リグレーション対応 •ドキュメント作業(変更設計書)

※記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です ※ちなみに記載の仕様、外観は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります
 ※印刷物につき、実際の製品・画像の色調と異なる場合があります
 ※本製品の開発・製造は、原則として日本国内での使用を想定して実施しています本製品を輸出する際は、輸出者の責任において、輸出関連法令などを遵守し、必要な手続きを行ってください
 海外の法令および規則への適合については当社はなんらの保証を行うものではありませんお、ご不明な場合は、販売店へお問い合わせください

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

〒220-6122
 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3クイーンズタワーB 25F
https://www.hitachi-ite.co.jp/lineup/engineering/service/eol_s/index.html

お問い合わせ

